

# 向日市社会福祉協議会では、 このような事業に取り組んでいます。



## 1 人と人の「つながりづくり」 【思いやりの心】の輪を広げる

誰もが住み慣れた地域で、安心して、暮らし続けられるように、人と人のつながりを大切に、思いやりの心の輪を広げる取り組みを進めます。



## 2 地域を担う「人づくり」 【助け合いの心】の種をまく

誰もが住み慣れた地域で、いきいきと、区・町内会・自治会をはじめとした地域活動に参加し、活躍できるように、地域を担う人づくりを大切に、助け合いの心の種をまく取り組みを進めます。



- 点訳ボランティア養成講座
- むこうボランティアNavi
- つながりサポーター養成講座
- 認知症サポーター・ステップアップ養成講座
- 地域の絆づくり講座
- おもちゃの病院
- 福祉教育出前講座
- 各種備品の貸出事業

## 3 安心して生活できる「仕組みづくり」 【地域共生】の暮らしを守る

誰もが住み慣れた地域で、自分らしく、生きがいをもって、暮らし続けられるように、安心して生活できる仕組みづくりを大切に、地域共生の暮らしを守る取り組みを進めます。

- 備えて安心！遺言と成年後見制度講座
- 災害ボランティア養成講座
- 地域で孤独孤立を考える映画鑑賞会
- 社協カラー食堂 ～みんなの居場所～
- 聴こえの相談会
- フードドライブ
- フードパントリー



### 社協のしおり

向日市社会福祉協議会の取り組みを紹介した社協のしおりを駅や公共施設に設置しています。また、ホームページにて公開しています。

### 令和7年度 向日市社会福祉協議会予算概要 [単位：千円]



## 向日市社会福祉協議会からのお知らせ

### ホームヘルプセンター臨時職員募集

【職種】ホームヘルパー  
 【雇用条件】●時給／1,530円～1,980円(他、諸手当あり)  
 ※ただし、勤務時間帯、曜日、経験年数によって異なります。  
 ●勤務日／週1回から可能(要相談)  
 ●勤務時間／午前8時～午後8時の間で希望時間  
 ●勤務場所／向日市  
 【資格要件】介護職員初任者研修修了者(旧ホームヘルパー2級)、介護福祉士などの資格をお持ちの方 ※資格をお持ちでない方への資格取得助成制度があります。(応相談)  
 【採用人数】3名程度  
 【申し込み】電話で、向日市社会福祉協議会 ホームヘルプセンター(TEL.932-1968)平子まで  
 ★明るく楽しい職場です！フォロー体制も万全です！あなたの資格、活かしませんか？ご応募お待ちしております。

### 送迎ドライバーの募集

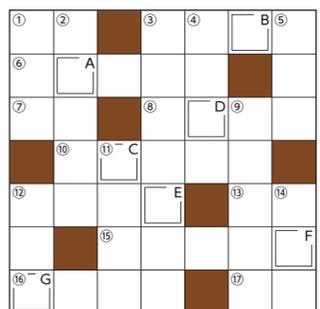
【仕事内容】デイサービスセンターでの要介護高齢者の送迎業務  
 【勤務形態】非常勤(週3日～5日(要相談))  
 【勤務時間】朝8時10分～夕15時20分～(1日実働3時間程度)  
 【休日】シフト制(日曜日・年末年始等)  
 【募集人員】1名 【給料】時給1,100円～  
 【待遇】交通費支給(規定あり) ※自転車・バイクでの通勤可、年次有給休暇(6か月後から)、労災保険加入あり、ユニフォーム貸与、試用期間3か月あり(条件同じ)  
 【資格要件】普通自動車免許(AT限定可) 未経験者も歓迎  
 【選考方法】面接 【採用時期】応相談  
 【応募】電話連絡のうえ、履歴書(写真貼付)を下記まで提出  
 ※見学可 ※時間・曜日相談可  
 向日市社協デイサービスセンター(採用担当者)  
 〒617-0002向日市寺戸町西野辺1-7向日市福祉会館内  
 TEL.931-3294(受付/日曜日を除く10時から17時まで)

### 福祉サービス利用援助事業をご存じですか？

福祉サービス利用援助事業は、認知症や知的障がい、精神障がい等で、判断能力が不十分な方の「暮らしの安心」をお手伝いする制度です。福祉サービスの利用料や公共料金、家賃等の支払い、日常生活に必要な預貯金の払い戻しや預け入れ等の金銭管理、郵便物の整理等をお手伝いしています。対象者は、認知症等のために、ご自身では、福祉サービスを利用するための手続きや日常的な金銭管理等が不安な方で、この事業の契約及び支援計画の内容について、理解できる方です。  
 【お問い合わせ】向日市社会福祉協議会 地域福祉推進課  
 TEL.932-1960



### 〓〓〓〓クロスワードパズル〓〓〓〓



ごたえ A B C D E F G

前号のクロスワードパズルの答えは、「シュンブン」でした。図書カードプレゼントの当選者については、発送をもってかえさせていただきます。

### 縦のカギ

- ①家屋と敷地を合わせたもの。土地も広い、立派な造りの家
- ②テレビドラマや映画で、通行人など物語で重要な役割を演じる出演者のこと
- ③自宅で生活できるよう、ホームヘルパーが食事・入浴・掃除などの支援をすること
- ④どのクラブ活動にも所属していない児童・生徒を意味する俗語
- ⑤あっちへ行ったり、こっちへ来たりすること。〇〇〇〇左往
- ⑥生卵をボウルなどの容器に割って、卵黄と卵白をくずして混ぜたもの
- ⑦成し遂げること。〇〇〇〇感、〇〇〇〇率
- ⑧自分がいる場所や保護者が分からなくなり、自宅や目的地に行くことが困難な状況の子供
- ⑨将棋の駒の種類の一つ。〇〇〇の高跳び歩の駒

### 応募方法

はがき又はFAXに、①ごたえ ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤今回号で特に関心があった記事(複数回答可) ⑥「福祉パレット」を読まれた感想を書いてお送りください。正解者の中から抽選で5名に図書カードをプレゼントします。

【送り先】〒617-0002 向日市寺戸町西野辺1-7 向日市福祉会館内 向日市社協 地域福祉推進課 FAX.933-4425

### 横のカギ

- ①江戸時代末期から昭和初期の日本の教育者。同志社創立者の新島襄の妻として知られる
- ②弱い部分や足りないところを補って強くすること
- ③春を愛する人は心清き人 スミシの花のような 僕の友だち
- ④フィギュアスケートで競技後、選手が採点結果を待つ場所。〇〇・アンド・クライ
- ⑤声を立てずに祈りをささげること。合掌や目をつぶる、軽く頭を下げることもある
- ⑥亜鉛メッキ鋼板でできた金属屋根を葺いたもの
- ⑦マレー半島とスマトラ島(インドネシア)を隔てる〇〇〇〇海峡
- ⑧〇〇細工、〇〇田城、〇〇取物語
- ⑨農産物検査法に基づく国の検査を受けた後、政府の手により売買される米
- ⑩ガンダーラ、モンキー・マジック、ビューティフルネームなどのヒット曲のあるバンド
- ⑪〇〇油、〇〇塩、黒〇〇、すり〇〇

### 締め切り

令和7年 8月29日(金)まで 必着

# 福祉パレット

お互いさまで支え合う  
地域づくり

## 社協会員募集

福祉活動充実のためにみなさまのご協力を  
よろしくお願いたします。



# 支援が必要な家庭に届け！ 雑巾を寄付！ タオルバンク

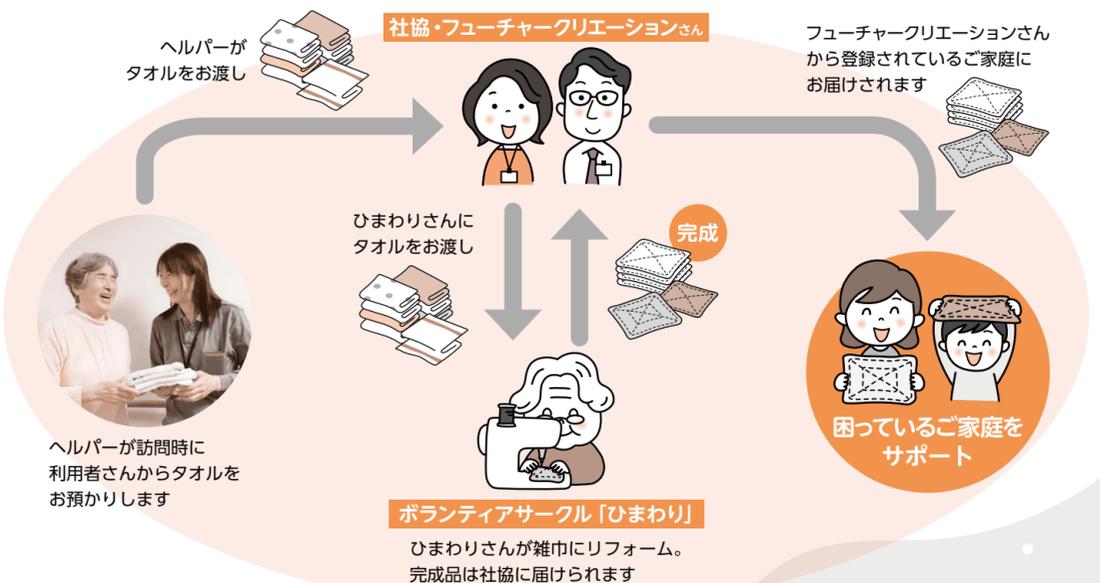
向日市社協では、こども宅食事業などに取り組む団体に、児童が小学校で使用する「雑巾」を寄贈しています。素材となるタオルを無償提供してくださったのはホームヘルプサービスを利用する利用者さん。そして、雑巾にリフォームしてくださったのはボランティアさんです。支援の輪が広がる新規事業「タオルバンク」についてご紹介します。



ホームヘルプセンター 平子 利佳子

善意のタオルは  
半年で100枚以上！  
支援に感謝

小学生のいる支援が必要なご家庭に食料品を届けられている一般社団法人フューチャークリエーションさんが、子どもたちが学期ごとに学校に持参する雑巾を作るためのタオルの寄付を募っていることを知りました。向日市社協でもひとり親家庭や経済的困窮家庭など雑巾を作る余裕がない家庭の支援につなげたいと、新規事業「タオルバンク」を展開することに。昨夏からホームヘルプセンターのヘルパーが利用者さんに自宅で眠っている未使用のタオルの寄付を呼び掛けたところ、多くの方が賛同してくださり、年内に100枚以上が集まりました。提供されたタオルは、高齢者や障がい者の衣服のリフォームを行うボランティアサークル「ひまわり」さんのもとへ。「いつもはお年寄りの依頼を受けているが、未来を担う子どもたちの支援になるなら」と、ループやネームタグをつけたオリジナルの雑巾に仕立ててくださりました。今年2月にフューチャークリエーションさんに贈呈した雑巾は、登録されているご家庭にお届けされました。社協としても、こうした地域の子育てにつなげる活動をさらにサポートしていきたいと考えています。また、社協でも一般家庭からの新品・未使用のタオルの寄付を受け付けています。ご協力をよろしくお願いします！



問い合わせ先 ホームヘルプセンター TEL.932-1968 / 受付時間 8:30~17:00

# 災害時に「支援が必要」が 一目でわかる！ 災害時障がい者 支援用バンダナ



視覚や聴覚障がい、身体障がいがある方は、災害時の情報が届きにくく、支援から取り残されるという課題があります。そこで、支援が必要であることを周囲に一目で伝えることができる、90センチ四方の黄色の「災害時障がい者支援用バンダナ」を製作しました。こだわったポイントや開発秘話を、担当者からお伝えします。

## 災害時に 役立つアイテム、 認知度向上が課題



障がい者地域  
生活支援センター  
北野 洋子

災害時に役立つ支援用バンダナは、障がいがある方がサポートを求める際に意思表示できるものです。昨今、未曾有の災害が多発している背景もあり、難聴者協会さんや要約筆記サークル「フレンド」さんから「ぜひ作ってほしい」とお声がけいただき、新規事業として取り組むことになりました。四隅には、「目が不自由です」「耳が聞こえません」「お手伝いをお願いします」「手話・筆談お手伝いします」という文字と、耳マークやヘルプマークなどをあしらいました。関係団体にもアドバイスをもらい、「目が不自由です」の角にはリボンをつけ、当事者が触っ

てわかる工夫をしました。避難所などでは、必要な支援の文字が外側を向くように三角に折り、背中に羽織って使用します。バンダナは140枚製作し、ろうあ協会など7団体に配布。小学校の防災訓練でも使用しました。ただ、当事者団体やボランティア団体の方も支援用バンダナの存在をご存じない方が多くいらっしゃいました。今後は障がいがある方も積極的に防災訓練に参加していただき、支援用バンダナを活用しながら、訓練時から障がい者の支援方法を地域の皆さんと一緒に検討していきたいと考えています。

バンダナは遠くからでも一目でわかる黄色を採用。外見上、障がいがあることが分かりづらい人も身につけることで支援の必要性を伝えることができます。手話や筆談など、お手伝いする側の文言があるのも特徴です。

文言のほかに、車いすマークや耳マーク、ヘルプマークなども記しています

伝えたい文字やマークが外側を向くように三角に折ります

背中に羽織って使用します

問い合わせ先 障がい者地域生活支援センター TEL.932-1990 / 受付時間 8:30~17:00

団体紹介

# 地域の活動団体紹介

向日市には、社協とともに安心して暮らしやすい地域づくりや仲間づくりに取り組むさまざまな団体があります。そのような団体の活動内容や魅力を知っていただくため、シリーズで紹介していきます。興味を持った方はぜひ地域での活動や行事に参加していただき、いまの生活をより豊かで快適にしていきたいと思います。



## 向日市身体障がい者協会

会長 山本 啓子さん

設立年 1955年

活動日 毎週水曜

活動時間 13:00~15:00

登録人数 40人

会費 1,000円/年 ※スポーツ安全保険は任意加入

問い合わせ先 932-9545 (山本さん)



## Q. どのようなことをしている団体ですか？

A 卓球バレーやポッチャ、フライングディスクといった誰もが楽しめるユニバーサルスポーツや、モノづくりなどに取り組んでいます。卓球バレーは年に7回ほど大会があり、昨年は府の大会で2位になりました。また、毎年9月に実施するバス旅行は介助者も含めて40人ほどが参加する人気企画。今年に関西国際空港の見学ツアーを行う予定です。私たちは身体や手先を動かして健康や体力増進を図るだけでなく、障がいがある人同士の交流や情報交換の機会とすることを大切にしています。フラットな関係なので、「みんなと話をするのが楽しみ」と、多くの会員が積極的に参加してくれています。

## Q. 対象となるのはどのような方ですか？

A 向日市在住か在勤で、障害者手帳をお持ちの方が対象です。現在は身体障がい、内部障がい、知的障がいの方が参加しています。その他の障がい者の方も大歓迎です。見学や体験はいつでもOK！ その方の状態に合わせて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。参加される場合は、動きやすい服装でお越しください。会場は主に福祉会館2階の機能訓練室や3階の福祉団体活動拠点で、電動車いすの方でもそのまま入場できます。

## Q. 活動中はどのような雰囲気ですか？

A 「今日の服装、すてきね」など、会員同士が気軽に話し合える空間が魅力だと思っています。その日の活動内容に丸となって取り組みながら互いの顔を見て会話することで、心と身体によい刺激が与えられるようで、外出が億劫になりがちな人も継続して参加しています。また、運営側である私もみなさんに「また、来週ね」と積極的に声かけをすることで、自分自身が元気でいよう、また頑張ろうと思えるのです。さまざまな取り組みにマイペースに挑戦していけますので、興味を持った方はぜひ私たちと一緒に楽しみましょう！

